

編集：北海道民主医療機関連合会
〒001-0014
札幌市北区北14条西3丁目1-12
TEL 011-758-5344
FAX 011-746-5449
E-mail igakusei@dominiren.gr.jp
発行 エイ・エム・メデカル協同組合



The Magazine for Those Who Expect to Be Doctors

これを読めば医学生生活が充実する!

医学生×医師対談



いとうあかね

伊藤茜（医学生）

まつもとささぐ

松元献（研修医）

はじめまして！
北海道民医連です。

「夢Dream」は医師を目指す皆さんに役立つ情報を発信しています。今は現役医学生が、勤医協中央病院初期研修医の松元献先生に「大学時代のこと」や「医師になつてからの生活」など、インタビューしました。

◆医師を 目指した きっかけ

伊藤：私が医師を目指したきっかけは小学校の担任の先生から聞いた話です。海外の貧しい国で子供に服などを配るというボランティアをやっていたと聞き、「私も人に喜んでもらえるような仕事をしたい」と思いました。先生の話を聞いて国際協力に興味を持ち、青年海外協力隊など海外で活躍できる仕事を

したいと思いました。松元先生の医師を目指したきっかけは何ですか？

松元：僕が医師を目指そうと思ったのは、「救命病棟24時」というドラマを見たことがきっかけかな。人の命を助ける仕事をしたいと思いました。最初は瓦礫の下から人を救助できるロボットを作りたいと思っていました。高校3年生のときに小さい頃からお世話になつていた人が塵肺（注1）という病気がもとで入院しました。お見舞いに行くともう声も出ない、点滴の管だらけという姿を見て、こういう人の命を助けるのは医師なんだと思い、高校3年生の遅い時期に医学部に行こうと決めました。勉強が間に合わず1浪しましたが、頑張って医学部に合格することができました。

注1 嘴肺（じんぱい）職業病の一種で長期間にわたり、吸入された粉塵や微粒子が肺に沈着し、呼吸器障害を起こす病気。粉塵の種類によってけい肺、鉄粉肺、石綿肺、炭肺などがある。炭鉱労働者などに見られ鉱路、芦別、夕張などに患者が多い。

大学では得られない貴重な経験

らんらん

勤医協中央病院 医師 郎朗
(旭川医科大学2013卒)



奨学生活動の魅力は、フィールドワークという医療や患者の生活の現場に直接ふれられる活動にあると思います。ただ行ってみるだけではなく、後で学生や医師を交えてみんなで討論し、自分の考えをみんなに伝えたり、他人の意見から学ぶ経験もできます。

医学部、特に単科大学では医療者以外に接する機会はとても少なく、考え方も医療者側からの視点に偏りがちです。実際の医療現場では様々な患者さんと接する機会が多いので、患者さんの生活や考え方を知ることは医師としてとても大事なことです。ぜひ奨学生活動を通して体験してみてください。

地域に飛び出してみよう

北海道民医連では病院を飛び出して、患者さんの住んでいる地域に足を運び、生活状況や地域の特性を知ろうという企画（フィールドワーク）を開催しています。

これまでに炭鉱の町、上砂川や苫小牧・室蘭などで開催してきました。冬には雪の多い地域で雪かきをして高齢者の生活に触っています。

学生時代にしか体験できないことがあります。
一緒に地域に出てみませんか？



北海道大学・札幌医科大学の学生が一緒に行う医学生ミーティング。病院職員が講師になり、社会問題について学んでいる。

1年生も6年生も学びになる！ 民医連の医学生活動の紹介

学校では教えてくれない学びがたくさん

医学生ミーティングでは医学生のやりたいことや関心を中心に、民医連の病院で働く医師、薬剤師、医療相談員（MSW）などを講師に医学・医療のことを学んでいます。2014年は「サプリメント」「被爆者医療」「生活保護」「731部隊～医の倫理について考える」など、多彩なテーマで学びました。学習会後は必ず懇親会も行っています。大学では学べないことがあり、ふだん考えないことを考える機会になります。ぜひ一度参加してみてください。

（興味のある方は4面にある連絡先にお問い合わせください）

話題のニュースをみんなで学習

札幌と旭川では、毎月1回手作りのランチをとりながら大学の授業、サークル・イベントの相談などを行っています。これをランチミーティングと呼んでいます。

参加は1年生から6年生まで、学年を超えて交流できるのが魅力です。大学の授業カリキュラムについてみんなで話をしたり、話題になっているニュースについてミニレクチャーを聞いたり、話題は様々です。

医学生を応援する職員や地域住民の方が腕によりをかけた料理が好評です。



旭川医科大学の医学生が参加しているランチミーティング。1年生から6年生まで楽しく交流している。

奨学生活動の魅力

うえはらひろき
上原 拓樹
北海道大学 医学部医学科6年



僕は奨学生活動を約5年半行っていましたが、その魅力は次のようなものがあると思います。

ひとつは部活やサークル以外に自分の大学の先輩後輩以外でも他大学の医学部の人とつながりを持てることです。医学生のつどいをはじめ、全国の医学生と知りあえる機会はなかなかないと思います。二つ目は本気でディスカッションができると思います。大学の授業で自分から意見して他人の意見を考える機会は多くはありません。そして、一番の魅力は様々な社会的出来事や医療の問題などについて知識を得て考えることができることだと思います。実際に地域に行ったり自分で調べたりすることで、今の医学部の勉強の見方も変わりました。みなさんもぜひ、参加して体験してみてください。

「患者中心の医療」体験しませんか？

「良い医師への夢」応援します



北海道民医連の紹介 ~働くひとびとの医療機関~

1946年、「いつでも・どこでも・だれもが安心してよい医療を」の願いから、医療に恵まれない人たちのための診療所が設けられました。それ以来、北の大地に根を下ろし、病める人々や地域住民と手を携えて歩み続け、やがて診療所が病院となり、全道へと点在するようになり、北海道民医連が生まれました。

病院・診療所、訪問看護ステーション、老人保健施設など、医療・介護のネットワークを広げ、地域に密着した医療・福祉活動を展開しています。



～病院見学のご案内～

私たちの病院・診療所は1年生から医学生実習を受け入れています。札幌にある勤医協中央病院など数ヶ所のほか、道内各地に北海道民医連の病院・診療所があります。

訪問診療や地域住民との懇談を通しての診療所実習や外来実習、救急外来見学、手術見学など皆さんの希望に沿った実習が人気です。

研修医と昼食をとりながら懇談するのもいい経験になりますよ。是非、気軽にご連絡ください。

お問い合わせ・お申し込みは

■勤医協中央病院 医学生課

札幌市東区東苗穂5条1丁目9-1
TEL:011-780-3346
E-mail:chuou-hp@dominiren.gr.jp



■道北勤医協一条通病院 医局課

旭川市豊岡1条1丁目7-3
TEL:0166-34-2111（内線2608）
E-mail:ichi-jou@dominiren.gr.jp



奨学貸付金制度のご案内

月額

120,000円

北海道民医連では「北海道で、住民の立場に立つ・親切で良い医療を行う医師」をめざす医学生への援助を目的として、奨学貸付金制度を設けています。

奨学生には毎月奨学生が貸与され、奨学生会議（医学生ミーティング）のほか、全道各地にある民医連の病院・診療所での実習や地域フィールドなどに優先的に参加することができます。

北の大地で医師をめざす皆さん。北海道民医連の奨学生になって一緒に学び、充実した学生生活を送りませんか。

【お問い合わせ】

北海道民医連 札幌市北区北14条西3丁目1-12 TEL011-758-5344
E-mail : igakusei@dominiren.gr.jp

